

アルインコ

DP50

(DJ-DPS50/DJ-DP50H)

(DR-DPM50/DR-DP50M)

クローンユーティリティ

Ver.1.06

## 1. DP50 クローンユーティリティについて

DP50 クローンユーティリティはデジタル簡易業務無線機「DJ-DPS50」「DJ-DP50H」「DR-DPM50」および「DR-DP50M」に各種の設定を行うプログラムです。

(以下、必要に応じて「DJ-DPS50」「DJ-DP50H」をハンディ機あるいは無線機、「DR-DPM50」「DR-DP50M」をモバイル機あるいは無線機と表記する場合があります)

### 必要なもの

基本ソフト Windows 98SE/Me/2000/XP/Vista/7 を搭載したパソコン

接続ケーブル ハンディ機の場合は ERW-8 および充電スタンド EDC183

モバイル機の場合は ERW-7

※ ERW-7/8 は説明書にしたがって事前にドライバソフトをインストールしておいてください。

### 接続方法

#### ・ハンディ機の場合

ERW-8 をパソコンの USB 端子に接続し、もう一方のプラグを EDC183 背面のジャックに接続します。

無線機を EDC183 にセットします。

無線機の電源を入れます。

#### ・モバイル機の場合

ERW-7 をパソコンの USB 端子に接続し、もう一方のプラグを無線機背面のジャックに接続します。

無線機の電源を入れます。

## 2. プログラムのインストールと起動

### インストール

インストーラファイル「DP50 Clone Utility ver.x.xx.msi」(x.xx の部分にはバージョン番号に相当する数字が入ります。以下同様。)をダブルクリックします。

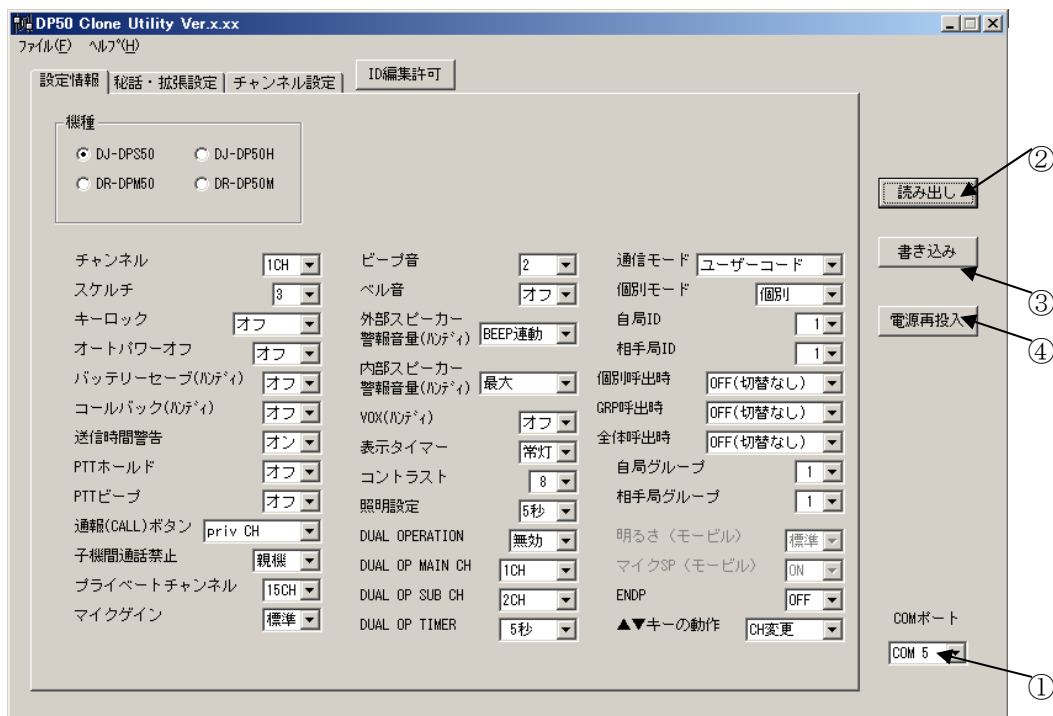
画面の指示にしたがってインストールを完了してください。

※ Windows2000/XP/Vista/7 搭載のパソコンをご使用の場合は管理者権限のあるアカウントでインストールを行ってください。

### 起動

デスクトップに作成されるショートカット「DP50 Clone Utility ver.x.xx」をダブルクリックします。オープニング画面が表示されて DP50 クローンユーティリティが起動します。

3. メイン画面（バージョン番号や選択できる項目等、画面の表示が実際のソフトウェアと異なる場合があります）



① COM ポート

COM ポートの設定を行います。Windows のデバイスマネージャ(XP の場合、Windows キーを押しながら Pause/Break キーを押す→「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック)を開いてポート (COM と LPT) の項目にある ERW-7/8 が接続されているポート番号 (USB Serial Port の後にある COM x の番号) を確認して、同じポート番号を選択してください。

② 読み出しボタン

無線機の設定情報やチャンネル情報を読み出します。

③ 書き込みボタン

無線機に設定情報やチャンネル情報を書き込みます。設定やチャンネル情報の編集が終わったらこのボタンを押して無線機にデータを書き込みます。

④ 電源再投入

通信モードを終了して、通常の運用状態に戻ります。無線機を操作して電源を入れ直す手間が省けます。

#### 4. エラー

##### COM ポートエラー

「読み出し」・「書き込み」ボタンを押したときに次のメッセージが表示された場合は COM ポートエラーです。デバイスマネージャを開いて ERW-7/8 が接続されているポートを確認して COM ポートの設定を行ってください。

また、ERW-7/8 が接続されている COM ポートが他のアプリケーションで使用されている場合にも COM ポートエラーになります。ERW-7/8 が接続されている COM ポートを使用しているアプリケーションを終了してから再度実行してください。



##### 通信エラー

次のメッセージが表示された場合は通信エラーです。無線機と ERW-7/8、パソコンが正しく接続されているかどうか確認してください。



電源を入れなおしてもエラーが出る場合にはデバイスマネージャを開いてポート (COM と LPT) の項目にある USB Serial Port をダブルクリックしてください。

USB Serial Port のプロパティが表示されますのでポートセッティングタブにある詳細設定ボタンをクリックしてください。

詳細設定画面が表示されますので画面左側の中ほどにある BM オプションの値を大きくしてください。

## 5. 設定情報タブ

メイン画面の「設定情報タブ」は無線機の基本的な設定を行います。

The screenshot shows a settings menu for a radio. At the top left, there's a '機種' (Model) section with four radio button options: DJ-DPS50, DJ-DP50H, DR-DPM50, and DR-DP50M. Below this, the settings are organized into columns. The first column includes 'チャンネル' (Channel) set to 1CH, 'スケルチ' (Squelch) set to 3, 'キーロック' (Key Lock) set to オフ (Off), 'オートパワーオフ' (Auto Power Off) set to オフ (Off), 'バッテリーセーブ(ハプティ)' (Battery Save (Haptic)) set to オフ (Off), 'コールバック(ハプティ)' (Call Back (Haptic)) set to オフ (Off), '送信時間警告' (Transmit Time Warning) set to オン (On), 'PTTホールド' (PTT Hold) set to オフ (Off), 'PTTビープ' (PTT Beep) set to オフ (Off), '通報(CALL)ボタン' (Call Button) set to priv CH, '子機間通話禁止' (Inter-com communication prohibition) set to 親機 (Parent), 'プライベートチャンネル' (Private Channel) set to 15CH, 'マイクゲイン' (Microphone Gain) set to 標準 (Standard), and '減電池警告音(ハプティ)' (Reduced battery warning sound (Haptic)) set to OFF. The second column includes 'ビープ音' (Beep sound) set to 2, 'ベル音' (Bell sound) set to オフ (Off), '外部スピーカー 警報音量(ハプティ)' (External speaker alarm volume (Haptic)) set to BEEP連動 (BEEP联动), '内部スピーカー 警報音量(ハプティ)' (Internal speaker alarm volume (Haptic)) set to 最大 (Maximum), 'VOX(ハプティ)' (VOX (Haptic)) set to オフ (Off), '表示タイマー' (Display timer) set to 常灯 (Always on), 'コントラスト' (Contrast) set to 8, '照明設定' (Lighting setting) set to 5秒 (5 seconds), 'DUAL OPERATION' set to 無効 (Invalid), 'DUAL OP MAIN CH' set to 1CH, 'DUAL OP SUB CH' set to 2CH, 'DUAL OP TIMER' set to 5秒 (5 seconds), and 'オープニング' (Opening) with an empty text box. The third column includes '通信モード' (Communication mode) set to ユーザーコード (User code), '個別モード' (Individual mode) set to 個別 (Individual), '自局ID' (Own station ID) set to 1, '相手局ID' (Other station ID) set to 1, '個別呼出時' (Individual call time) set to OFF(切替なし) (OFF (No switching)), 'GRP呼出時' (GRP call time) set to OFF(切替なし) (OFF (No switching)), '全体呼出時' (All call time) set to OFF(切替なし) (OFF (No switching)), '自局グループ' (Own station group) set to 1, '相手局グループ' (Other station group) set to 1, '明るさ(モービル)' (Brightness (Mobile)) set to 標準 (Standard), 'マイクSP(モービル)' (Microphone SP (Mobile)) set to ON, 'ENDP' set to OFF, and '▲▼キーの動作' (Up/Down key action) set to CH変更 (CH change).

### チャンネル

無線機を起動したときのチャンネルを選択します。初期値はCH 0 1 です。

### スケルチ

ノイズスケルチのレベルの設定を行います。0 (オープン) ~9 の設定が可能です。  
値が大きくなるほどスケルチが深く (開きにくく) になります。0 に設定するとハンディ機の電池の消耗がはやくなるので注意してください。初期値は3です。

### キーロック

オフ、オン、解除禁止の設定ができます。オンもしくは解除禁止に設定すると無線機本体でできる操作が制限され、送信とモニター動作のみが有効になります。  
また解除禁止に設定すると無線機本体を操作してキーロック状態を解除したり、リセット操作ができなくなります。初期値はオフです。

### **オートパワーオフ**

オフ、30 分、1 時間、2 時間、3 時間 4 時間、5 時間、6 時間の設定ができます。オフ以外に設定すると、設定した時間操作を行わないと自動的に電源がオフになります。初期値はオフです。

### **バッテリーセーブ(ハンディ機のみ)**

オフ、オンを選択します。オンを選択すると送受信していない状態では間欠動作を行い、電池の消耗を少なくします。ただし受信時の反応は若干遅くなる場合があります。初期値はオフです。

### **コールバック(ハンディ機のみ)**

外部のイヤホン・マイクを使用して運用する場合に送信中の自分の声をイヤホンから聞けるようにする機能です。初期値はオフです。

### **送信時間警告**

電波法により 5 分を超える連続送信は禁止されています。無線機は送信時間をカウントして 5 分を超える前に送信を止めるようになっています。送信時間警告をオンに設定しておくで送信終了 30 秒前および 5 秒前に警告音が鳴ります。初期値はオンです。

### **PTT ホールド**

PTT を押し続けていなくても PTT を 1 回押すごとに送信・受信を切り替える機能です。初期値はオフです。

### **PTT ビープ**

オンにすると PTT を押して送信を始める際に「ピピッ」とビープ音がなります。初期値はオフです。

### **通報(CALL)ボタン**

本体上部の緑のボタン (DJ-DPS50)、赤のボタン(DJ-DP50H)、リモコンマイクの CALL キー(モービル機)の機能を設定します。ボタンを 1 秒以上押した場合にプライベートチャンネルを呼び出すか、緊急通報動作を行うか、このボタンを無効にするかを選択します。初期値はプライベートCH呼び出しです。

### **子機間通話禁止**

子機に設定した無線機同士の通話を禁止する機能です。子機に設定した無線機は親機に設定した無線機としか通話できません。初期値は親機です。

### **プライベートチャンネル**

よく使うチャンネルをプライベートチャンネルとして登録することができます。登録されたチャンネルはプライベートチャンネル呼び出し機能で呼び出すことができます。初期値は呼び出し用チャンネルの 15 チャンネルが設定されています。

## マイクゲイン

マイクゲインの設定を行います。ハンディ機の場合は「低い・標準・高い」、モービル機の場合は「最小・小・標準・大・最大」の設定が可能です。低いあるいは最小に設定すると相手に聞こえる音量が小さくなり、高いあるいは最大に設定すると大きくなります。初期値は標準です。

## 減電池警告音(ハンディ機のみ)

OFF、30 秒、1 分～10 分から選択できます。電池の残量が少なくなった時に、警告音で知らせる機能です。満タン時に 3 個ある電池マークが 1 個から 0 個になった瞬間に一度、それ以後は設定した時間間隔ごとにアラーム音でお知らせします。初期値は OFF です。

## ビープ音

オフおよび 1～4 の設定が可能です。値が大きいほど大きな音になります。操作時などに鳴るビープ音を設定します。初期値は 2 です。

## ベル音

オンにすると電波を受信してスケルチが開くとベル音がなります。初期値はオフです。

## 外部／内部スピーカー警報音量(ハンディ機のみ)

緊急通報を送信、もしくは受信した場合にスピーカーから出力される音量を設定します。ビープ音に連動、1～4、最大から選択します。外部スピーカーの初期値はビープ音に連動、内部スピーカーの初期値は最大です。

## VOX(ハンディ機のみ)

VOX 設定をオンにすると PTT ボタンを使用せずに音声入力によって自動的に送信することができます。感度は 1～7 が選択できます。値が大きくなるほど高感度（小さな音でも送信する）になります。初期値はオフです。

## 表示タイマー

常灯、5 秒、10 秒、30 秒、1 分の中から選択できます。常灯以外を選択すると設定された時間操作を行わない場合と PTT ボタンを押した場合に LCD 表示を横棒表示にし、他人に見られても設定がわからないようにします。初期値は常灯です。

## コントラスト

LCD のコントラスト調整を行います。1～10 の設定ができます。値が小さいほど表示が薄くなり、大きいほど濃くなります。初期値は 8 です。

## 照明設定

ランプの設定を行います。消灯を選択すると消灯し、秒数を選択すると本体を操作した時に設定した秒数の間バックライトが点灯します。常灯を選択すると常時バックライトが点灯します。初期値は 5 秒です。

## **DUAL OPERATION**

デュアルオペレーション機能の有無を設定します。有効にすると CH 0 1 の次にデュアルオペレーションのチャンネルが出現します。初期値は無効です。

## **DUAL OP MAIN CH**

デュアルオペレーション機能のメイン側のチャンネルを選択します。  
初期値は CH 0 1 です。

## **DUAL OP SUB CH**

デュアルオペレーション機能のサブ側のチャンネルを選択します。  
初期値は CH 0 2 です。

## **DUAL OP TIMER**

デュアルオペレーション機能で通話が終わり、スキャンを開始するまでの時間を設定します。初期値は 5 秒です。

## **通信モード**

ユーザーコード(uc)通信か個別通信かを選択します。初期値は uc 通信です。

## **個別モード**

通信モードで個別通信に設定した場合に、個別呼び出しを行うかグループ呼び出しを行うか全員呼び出しを行うかを選択します。初期値は個別呼び出しです。

## **自局 ID・相手局 ID**

個別呼び出しモードで使用する自局や呼び出す相手局の ID を設定します。  
DJ-DPS50,DR-DPM50 の場合は 1～200、DJ-DP50H,DR-DP50M の場合は 1～999 の設定が可能です。初期値は 1 です。

## **個別呼出時**

個別呼出された時に、呼んできた相手に応答するかどうかを設定します。初期値は OFF です。

## **GRP 呼出時**

GRP 呼出された時に、グループに対して応答するかどうかを設定します。初期値は OFF です。

## **全体呼出時**

全体呼出された時に、全体に対して応答するかどうかを設定します。初期値は OFF です。

## **自局グループ・相手局グループ**

グループ呼び出しモードで使用する自局や呼び出す相手局のグループ番号を設定します。1～10 から選択します。初期値は 1 です。

## **明るさ(モービル機のみ)**

リモコンマイクの LCD バックライトの明るさを設定します。



### マイク SP(モバイル機のみ)

リモコンマイクのスピーカから音を出すかどうかを設定します。OFF に設定すると、外部スピーカを接続しないと音声は聞こえません。

### ENDP

送信側が PTT を離れた時に受信側でピッと音を鳴らし、送信の終了を確実に知るための機能です。初期値は OFF です。

### ▲▼キーの動作

「CH 変更」を選択した場合は、そのまま▲▼キーを押すとチャンネルの変更となり、EMG キーを押してから▲▼キーを押すことで相手局 ID や相手局グループの変更が可能になります。「ID 変更」を選択した場合は、そのまま▲▼キーを押すと相手局 ID や相手局グループの変更となり、EMG キーを押してから▲▼キーを押すとチャンネルの変更が可能になります。初期値は「CH 変更」です。

### オープニング

電源を入れた時の表示をデフォルトの機種名表示から任意の文字列に変更することができます。半角のみだと 64 文字まで、それ以外の場合は 32 文字まで。この欄に文字も空白も何も入れなければ、デフォルトの機種名表示となります。

自局 ID を表示させたい場合は、①②③と入力してください。

①が自局 ID の百の位、②が自局 ID の十の位、③が自局 ID の一の位に置換されて表示されます。①②③で書き込んだ部分は、無線機の操作で自局 ID を変更した場合にも自動的に反映されます。他の文字列と混在して使用することも可能です。例、「自局 ID : ①②③」など。

## 6. 秘話・拡張設定タブ

このタブでは秘話キーの設定と拡張設定を行います。

**秘話キー設定**

ID 1	00775	ID18	11854
ID 2	08510	ID17	10017
ID 3	11325	ID18	10018
ID 4	06680	ID19	10019
ID 5	00021	ID20	10020
ID 6	05686	ID21	10021
ID 7	21506	ID22	10022
ID 8	00321	ID23	10023
ID 9	02703	ID24	10024
ID10	00005	ID25	10025
ID11	05656	ID26	10026
ID12	07276	ID27	10027
ID13	00057	ID28	10028
ID14	00872	ID29	10029
ID15	00036	ID30	10030

00001～32767の設定が可能です。

**拡張設定**

☒ 拡張設定モードを使用する

☐ ECOモード設定にする（受信時に頭切れの恐れがあります。）

**ショートメッセージ**

①を送信する（JIS第一水準対応）

① 送信メッセージ1回の送信で32文字までの文を送ることができます

② 送信メッセージ2メッセージは4件まで登録しておくことができます。

③ 送信メッセージ3桁かもしんじも同じ1文字としてcountします

④ 送信メッセージ4 ALINCO DJ-DPS50DJ-DP50H

**温度表示**

☐ 温度表示

低温警報 なし

高温警報 なし

**ショックセンサー**

機能 OFF

有効軸 前後左右

転倒検知感度 0.50G

振動検知感度 0.10G

転倒反応時間 5秒

警報音のみ 0秒

音+通報 30秒

静かに送信 0秒

音声送信 0秒

受信 10秒

繰返し回数 3回

再アラーム条件 一度だけで終了

### 秘話キー

ID1～ID30 まで 30 個の秘話キーを設定することができます。秘話キーの値は 00001～32767 が設定可能です。秘話通信を行う場合は登録された 30 個の中から秘話キーを選択します。

### 拡張モード

拡張設定を使用する場合にチェックボックスをオンにします。オンに設定すると拡張機能フレーム内の項目が設定できるようになります。初期値はオフです。

### ECO モード(ハンディ機のみ)

バッテリーセーブ以上に電池の消耗を少なくするモードです。ただし長時間の間欠受信動作を行いますので受信時の頭切れが長くなる恐れがあります。

### ショートメッセージ

デジタル簡易業務無線機ではショートメッセージの送受信ができます。32 文字以内の文章をあらかじめ登録しておき、無線機で選択して送信することができます。送信できる文字は半角英数・半角カナ・半角記号および JIS 第一水準の文字です。なお、改行コードを送信することはできません。

## 温度表示

チャンネル番号を通常より小さく表示し、その下に無線機内の温度を表示します。

## 低温警報

無線機の温度が設定値よりも低くなった時にアラームを発報します。

## 高温警報

無線機の温度が設定値よりも高くなった時にアラームを発報します。

## ショックセンサー機能

ショックセンサーの機能を選択します。オフ、転倒検知モード、振動検知モードから選択します。通常、インジケータは送信すると赤色に点灯しますが、転倒検知モードもしくは振動検知モードに設定するとインジケータの役割が変わります。送信しても赤色に点灯せず、センサーが反応すると赤色に点灯します。

## ショックセンサー有効軸

転倒検知モードにした時に有効にしたい軸を設定します。次の 8 種類から選択します。

無効  
左右  
上下  
上下左右  
前後  
前後左右  
前後上下  
全方向

有効にした軸に一定の加速度(G)を感じるとセンサーが反応します。無効に設定するとショックセンサー機能は動作しません。無線機を立てて使う場合は「左右＋前後」が適しています。上下方向には常にGが掛かることになるので、上下の軸を有効にすると、反応し続けることになるためです。

## 転倒検知感度

転倒検知の感度を設定します。小さい値に設定するほど敏感になります。

転倒検知モードにした時、有効軸のいずれかに掛かる加速度の値がここで設定した値を超えると、センサーが反応します。静止状態ではどの方向にも 1G 以上の重力が掛からないため、1.0G を超える値を設定すると、静止状態では反応しません。

## 振動検知感度

振動検知の感度を設定します。小さい値に設定するほど敏感になります。

振動検知モードにした時、上下左右前後の軸のいずれかに掛かる加速度の変化量がここで設定した値を超えるとセンサーが反応します。

### 転倒反応時間

1 秒～60 秒の範囲で設定します。転倒モードにした時、センサーの反応(赤ランプ点灯状態)がここで設定した秒数の間継続した場合に、反応音の鳴動や電波による通報などのアラーム動作がおこなわれます。

※以下の6項目は連動しています。センサー反応時に、どのようなアラーム動作をおこなうかを設定します。①～⑤の動作を順番に⑥で設定した回数だけおこないます。0秒を選択した項目の動作はスキップされます。また、①～④の項目が全て0秒になっている場合は、例えば⑤が設定されていたとしてもアラームは動作しません。

#### ①警報音のみ

送信はせずに、センサーが反応した無線機(以下センサー機)が音を鳴らします。

#### ②音+通報

センサー機が音を鳴らしながら緊急信号を送信します。受信した無線機(以下モニター機)からも緊急音が鳴ります。

#### ③静かに送信

センサー機からは音を鳴らさずに緊急信号を送信します。モニター機からのみ緊急音が鳴ります。

#### ④音声送信

センサー機が通常の音声送信をおこないます。センサー機周辺の音をモニター機で聞くことができます。

#### ⑤受信

センサー機が受信状態になります。モニター機から音声を送信することによって、センサー機から「コラッ」などの威嚇音声を出すことができます。

#### ⑥繰り返し回数

上記①～⑤の動作を何回繰り返すかを設定します。

### 復帰条件

一通りのアラーム動作を終了した後、再度通報するかどうかの設定をおこないます。

一度だけで終了：動作終了後は、電源を入れ直すまでアラーム動作は実行されません。

状態検出で再発報：動作終了後、ショックセンサーの場合は再度警戒状態に入ります。その他のセンサーの場合は、引き続きセンサーが反応している場合は再びアラーム動作をおこない、反応していない場合は、反応した時点で発報をおこないます。

エッジ検出で再発報：動作終了後、ショックセンサーの場合は再度警戒状態に入ります。その他のセンサーの場合は、一度センサーの反応がなくなってから再びセンサーが反応した場合にアラーム動作をおこないます。(動作終了後、一度もセンサーの反応がなくならず、ずっとセンサーが反応し続けている場合はその時点では再発報しません。)

## 7. チャンネル設定タブ

このタブでは各チャンネルで使用するユーザーコード、秘話 ID、送信出力を選択できます。

設定情報				秘話・拡張設定				チャンネル設定				IDの名称				
	周波数	ユーザーコード	秘話	送信出力		周波数	ユーザーコード	秘話	送信出力		周波数	ユーザーコード	秘話	送信出力		
CH01	351.20000MHz	000	オフ	High		CH21	351.32500MHz	000	オフ	High		CHS1	351.16875MHz	000	オフ	OFF
CH02	351.20625MHz	000	オフ	High		CH22	351.33125MHz	000	オフ	High		CHS2	351.17500MHz	000	オフ	OFF
CH03	351.21250MHz	000	オフ	High		CH23	351.33750MHz	000	オフ	High		CHS3	351.18125MHz	000	オフ	OFF
CH04	351.21875MHz	000	オフ	High		CH24	351.34375MHz	000	オフ	High		CHS4	351.18750MHz	000	オフ	OFF
CH05	351.22500MHz	000	オフ	High		CH25	351.35000MHz	000	オフ	High		CHS5	351.19375MHz	000	オフ	OFF
CH06	351.23125MHz	000	オフ	High		CH26	351.35625MHz	000	オフ	High						
CH07	351.23750MHz	000	オフ	High		CH27	351.36250MHz	000	オフ	High						
CH08	351.24375MHz	000	オフ	High		CH28	351.36875MHz	000	オフ	High						
CH09	351.25000MHz	000	オフ	High		CH29	351.37500MHz	000	オフ	High						
CH10	351.25625MHz	000	オフ	High		CH30	351.38125MHz	000	オフ	High						
CH11	351.26250MHz	000	オフ	High												
CH12	351.26875MHz	000	オフ	High												
CH13	351.27500MHz	000	オフ	High												
CH14	351.28125MHz	000	オフ	High												
CH15	351.28750MHz	000	オフ	High												
CH16	351.29375MHz	000	オフ	High												
CH17	351.30000MHz	000	オフ	High												
CH18	351.30625MHz	000	オフ	High												
CH19	351.31250MHz	000	オフ	High												
CH20	351.31875MHz	000	オフ	High												

☒ 上空チャンネルを有効にする

一括設定  
☐ ユーザーコード一括設定    ☐ 秘話一括設定    ☒ 送信出力一括設定

### ユーザーコード

ユーザーコード通信で使用するコードをチャンネルごとに設定します。000～511までの値が設定できます。ユーザーコード一括設定チェックボックスをチェックしておく一括ですべてのチャンネルに同じユーザーコードを設定することもできます。なお、15チャンネルは呼び出し用チャンネルですので000以外のユーザーコードを設定することはできません。

### 秘話

各チャンネルで使用する秘話キーを秘話・拡張設定タブで設定したID1～ID30の中から選択して設定することができます。秘話を使用しない場合はオフに設定してください。秘話一括設定チェックボックスをチェックしておく一括ですべてのチャンネルに同じ秘話キーを設定することもできます。なお、15チャンネルには秘話の設定はできません。

## 送信出力

チャンネルごとに送信出力を設定できます。送信出力は **High**、**Mid**、**Low**、**OFF** のうちから選択します。**OFF** に設定したチャンネルは送信が禁止されます。送信出力一括設定チェックボックスをチェックするとすべてのチャンネルに同じ送信出力が設定されます。

※ チャンネルごとに異なる送信出力を設定する場合には、必ず送信出力一括設定のチェックを外してから書き込みをおこなってください。

## 上空チャンネルを有効にする

このチェックボックスをオンにすると、上空用の 5 チャンネル分が追加されます。初期値はオフで、上空用のチャンネルは現れません。また、上空用チャンネルは受信専用のチャンネルであり、送信はできません。

## 8. CH と ID の名前編集タブ



画面上部の「名前編集許可」というボタンを押すと、CH と ID の名前編集を許可するタブを追加してよいかどうかの確認ダイアログボックスが現れます。「はい」を押すと編集が可能になりますが、無線機とのアクセスに時間が掛かるようになります。名前を付ける必要がない場合はタブを追加しないことをおすすめします。下記は「はい」を押してタブが追加された状態です。

設定情報 | 秘話・拡張設定 | チャンネル設定 | CHとIDの名称

CH	名前
01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	

個別ID	名前
001	
002	
003	
004	
005	
006	
007	
008	
009	
010	
011	
012	
013	
014	
015	
016	
017	
018	
019	
020	
021	

このタブを無効にする

名前の情報を無線機に書いたり無線機から読み出したりできなくなりますが、書き込みや読み出しに要する時間は短縮できます。

☐ 名前のあるIDのみ選択可能

設定情報タブ内の「▲▼キーの動作」の設定が「ID変更」になっている場合のみ、この機能が有効になります。

CH 01

ID 001

※使用できる文字数や文字種、付けた名前が有効になる CH や ID の範囲はバージョンによって異なります。また、一つの CH あるいは ID の中で、全角と半角を混在させないでください。

### 名前のある ID しか選択できないようにする

このチェックボックスをチェックしておくと、名前のある ID しか呼出相手として選択することができません。設定情報タブ内の、「▲▼キーの動作」の設定が「ID 変更」になっている場合のみ、この機能が有効になります。

### このタブを無効にする

このボタンを押す则このタブを無効にします。無効にすると、無線機とのアクセスをしないため、読み書きに掛かる時間が少し短縮できます。



## 9. ファイルメニュー



画面左上の「ファイル」メニューを開くと編集したデータの保存などを行うことができます。

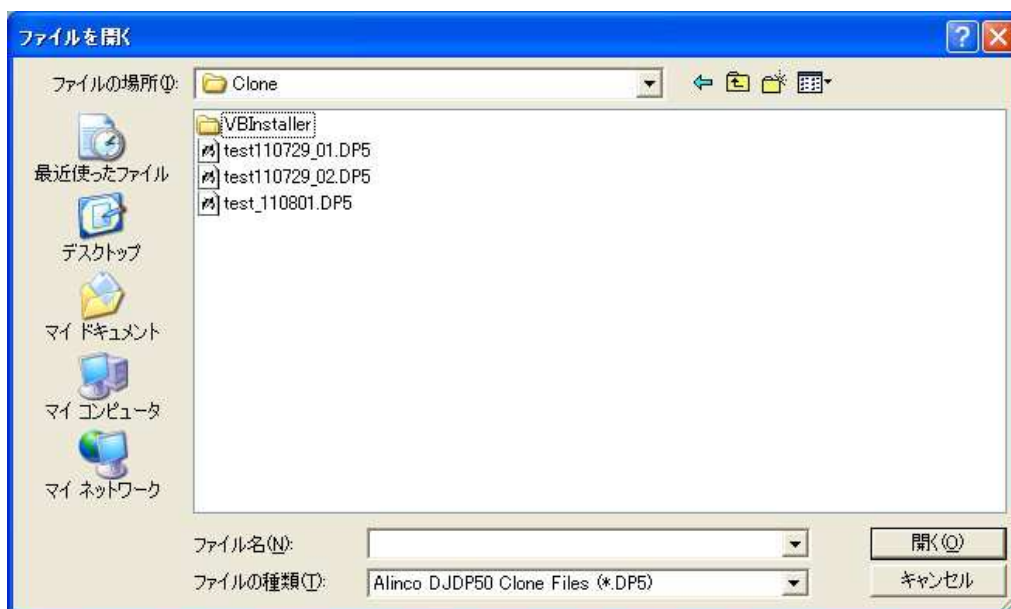
### 新規作成

新たに編集を開始するときに使用します。

新規作成を行うと画面上で編集した内容は初期化されて、プログラムを起動した状態に戻ります。

### 開く

過去に保存したデータを開くことができます。

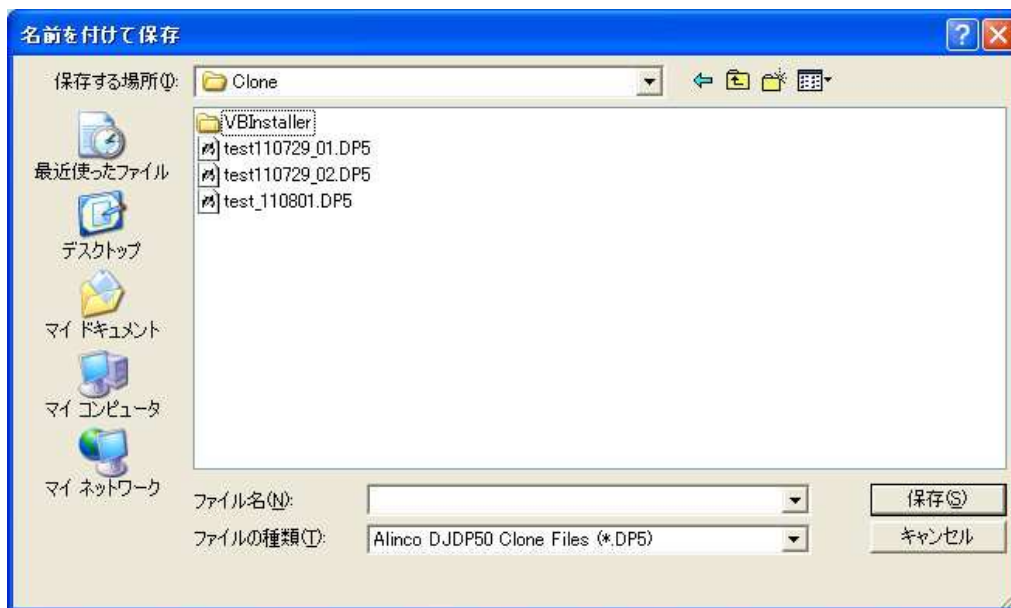


## 上書き保存

編集した情報を上書き保存できます。新たに編集したデータの場合は名前をつけて保存します。

## 名前をつけて保存

編集データに名前をつけて保存することができます。



10. ヘルプメニュー

バージョン情報

バージョン情報が表示されます。



アルインコ株式会社 電子事業部